



秋田工業高等専門学校

東北地区国立大学法人 オープンセミナー 事前掲載資料 (令和8年3月3日)



独立行政法人国立高等専門学校機構

秋田工業高等専門学校

National Institute of Technology, Akita College



高専って？

2

時代にふさわしい、実践的技術者を養成する高等教育機関です

国立高等専門学校(高専)は、我が国の産業の発展と、科学技術教育のより一層の振興を図るために、昭和37年に創立されました。

高専には、『深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成する』という目的があり、中学校卒業生を入学資格とする5年制の一貫教育を行う高等教育機関です。

平成16年度には、独立行政法人国立高等専門学校機構として発足し(法人化)、全国に51校55キャンパスの国立高専が設置されています。

また、令和4年度には高等専門学校制度創設60周年を迎えました。



秋田高専の沿革

3

1964(昭和39)年
機械工学科, 電気工学科, 工業化学科の3学科で発足

2004(平成16)年
独立行政法人化

2017(平成29)年
創造システム工学科に改組(1学科・4系・8コース)

2022(令和4)年
専攻科改組(1専攻・4コース)

創造システム工学科

定員160名

2年生進級時に4系列の中から適した系を選べます

機械系



社会基盤を支える重要な専門技術の一つである機械工学を学びます。

電気・電子・情報系



電気エネルギーと情報・通信の基盤となる専門知識と技術について学びます。

物質・生物系



物質や生物に関わる基礎的な専門知識を学びます。

土木・建築系



道路・鉄道などのインフラや建物を作る建設技術を学びつつ倫理観を育成します。

4年生進級時には系の2コースの中からコースを選択し、更に専門的分野を学びます

機械システムコース

知能機械コース

電気エネルギーシステムコース

情報・通信ネットワークコース

マテリアル・プロセス工学コース

バイオ・アグリ工学コース

国土防災システムコース

空間デザインコース

本科卒業

進路

即戦力として
就職

進路

プラス2年間
専攻科グローバル地域
創生工学専攻

機械工学コース
電気情報工学コース
物質工学コース
建設工学コース

進路

大学(3年)へ

※大学によって編入する学年が異なります



1年

2年

3年

4年

5年

創造システム工学科(本科)783名, 専攻科36名の
学生が学んでいます(R7.7.1現在)。



組織

教職員数(R7.5.1現在) ※常勤のみ。再雇用職員及び非常勤職員を除く。

区分	校長	教授	准教授	講師	助教	職員※	合計
人数	1	20	26	6	5	38	96

教職員の年齢構成(R7.5.1現在)

年齢 区分	校長		教授		准教授		講師		助教		小計		職員		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
20-29									1		1		5	1	6	1
30-39					3		4	2	4		11		8	4	19	4
40-49			1		11	4					12	6	10	5	22	11
50-59	1		15		6	1					22	1	4		26	1
60-			4		1						5			1	5	1
合計	1	0	20	0	21	5	4	2	5	0	51	7	27	11	78	18

事務組織

事務部長	総務課長	総務課長補佐 (総務担当)	総務係
			人事係
			学術情報係
		総務課長補佐 (財務担当)	財務係
			調達係
			施設係
	学生課長	学生課課長補佐	学生支援係
			教務係
			寮務係

技術教育支援センター組織

技術教育支援 センター長 (教員)	技術長	副技術長	第一班 (機械・実習工場系)
			第二班 (電気・情報系)
			第三班 (物質・環境系)



教育研究支援系技術職員の業務①

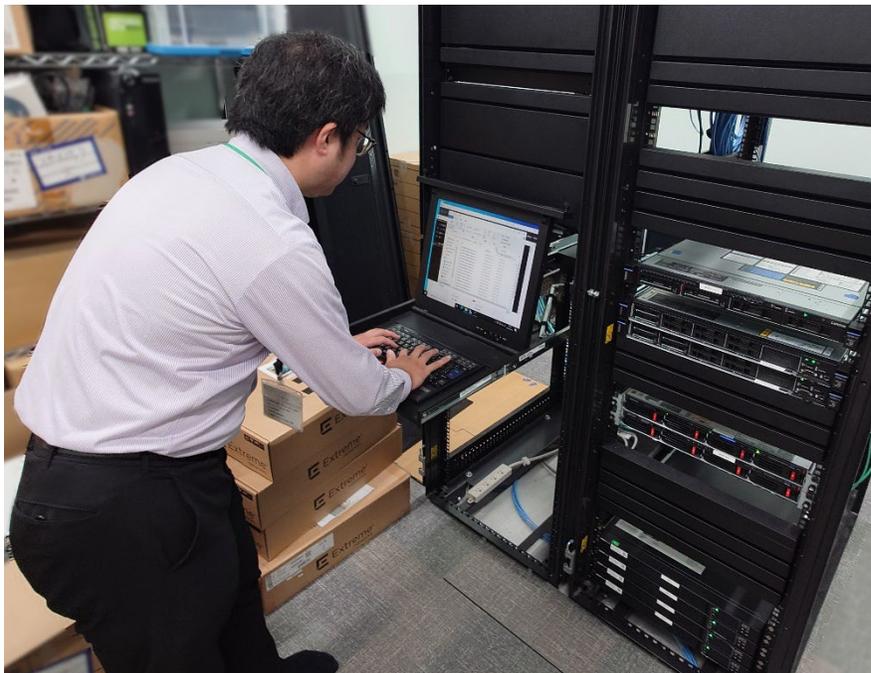
(情報処理センター担当の場合)

7

高専ならではの経験

高専では、それぞれの専門分野でコンピュータを用いて低学年のレポート作成から高学年の設計・解析まで、幅広い内容の情報処理教育を行っています。その教育の基盤となるネットワーク全体の整備・管理や学生への指導などが主な業務です。

様々な分野の学生にもわかるように指導するのは大変ですが、高専の教育を支える重要な業務であり、非常にやりがいを感じます。



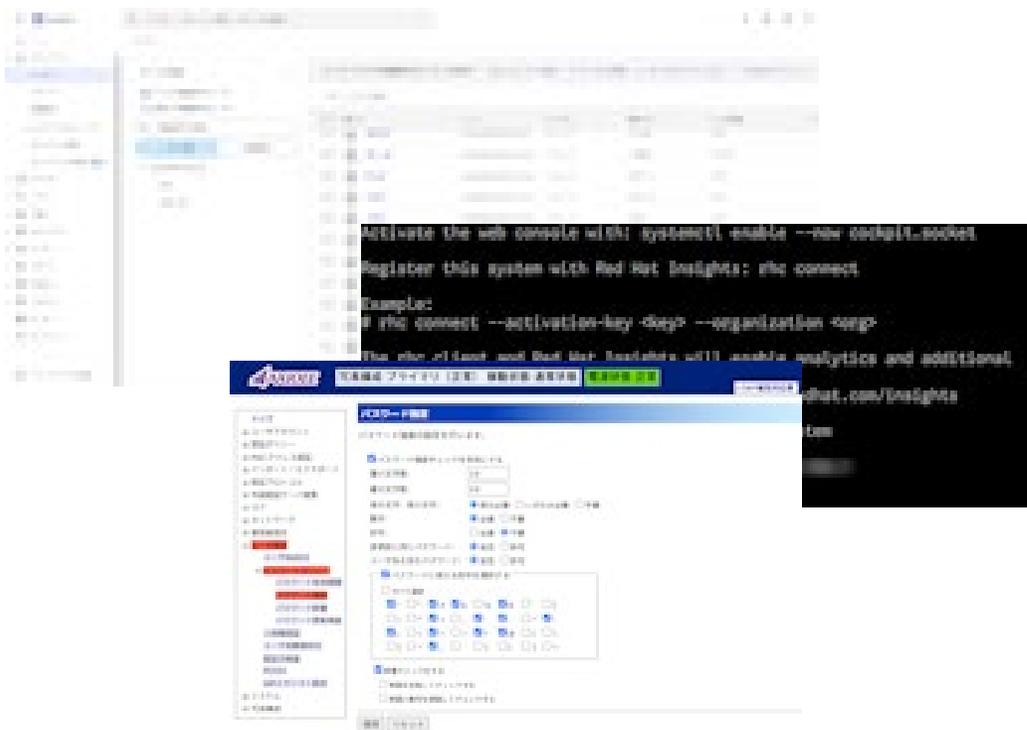


教育研究支援系技術職員の業務②

(情報処理センター担当の場合)

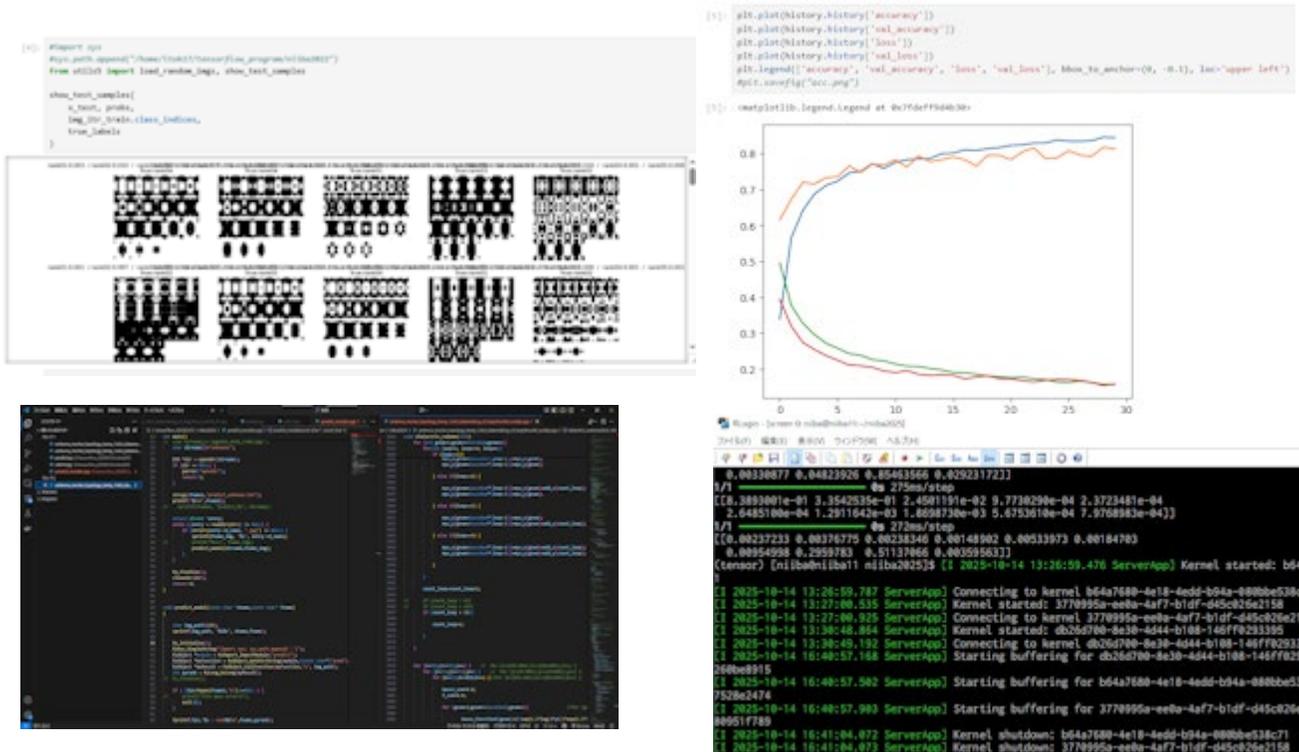
業務の一例

例①システム管理, 自主研究



システム管理画面など

Tensorflow を用いた機械学習 での画像判別による, 計算負荷軽減に関する研究



自主研究

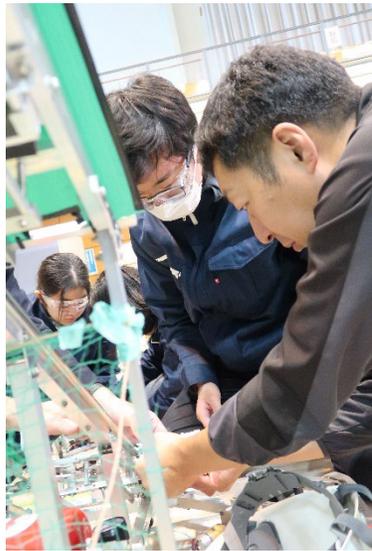


教育研究支援系技術職員の業務③

(情報処理センター担当の場合)

業務の一例

例②ロボットコンテスト支援



学生が製作するロボットの製作支援やアドバイスなどを行っています。全国大会にも同行し支援します。

例③エコフェスタへの参加



技術教育支援センター単独で、学校公開事業への協力を行い、センター職員の活動を報告しています。



教育研究支援系技術職員の 業務スケジュール(情報処理センター担当の場合)

○ある1日のスケジュール

出勤

- 8:30～ メールチェック, スケジュール確認, 演習室の開錠・授業準備
- 8:50～ 授業支援(学生のパソコン操作などの確認・指導)
- 12:00～ 昼休憩
- 12:45～ 演習室の設備等メンテナンス
- 14:30～ 学生からの質問等への対応
- 16:00～ 教員との打合せ
- 17:00～ 退勤



教育研究支援系技術職員の 業務スケジュール(情報処理センター担当の場合)

○ある1年のスケジュール

4月～	8月	新入生用アカウント作成, 情報基礎などの授業支援
5月～	9月	エコフェスティバル参加準備(企画, 展示準備, 製作)
6月～	10月	ロボットコンテスト製作支援
7月～	9月	科学研究費助成金申請書作成(希望者のみ)
10月～	2月	物理実験・基礎工作実習などの授業支援
2月～	3月	アカウントの棚卸・システムのバージョン更新など次年度の準備
通年		卒業研究支援, 教員研究支援, 自主研究, システムメンテナンス 入学式・高専体育大会・オープンキャンパス・学校祭・入学試験・卒業式 などの業務支援



そのほかの業務内容

- ▶ **学校行事等への協力**
- ▶ ・入学式, 卒業式 ・入学試験 ・オープンキャンパス
- ▶ ・高専祭 ・各種コンテスト(ロボコン, プロコン, デザコンなど) ・高専体育大会
- ▶ 秋田高専の学生は, ロボットコンテスト, プログラミングコンテスト, デザインコンペティションといった各種コンテストに積極的に参加しています。
- ▶ 各種コンテストや高専体育大会は, 当番制で毎年, 各地区で開催しています。令和5年度は, 当番校としてロボコン2023東北地区大会を開催しました。職員も大会運営に協力し, 大会を通して高専生の活躍を間近で見ることができました。